

# 「お父さんの仕事も手伝える」 親子で取り組むものづくり

## 片桐様 親子

- 父 : 片桐 正裕 様
- 息子 : 片桐 大吾 様

## 利用製品

- Laserbox

## 使用用途

- 内装業の材料加工
- 作品製作

## 要約

- **導入理由** : プログラミングのアウトプット手段および仕事での活用として
- **活用方法** : 大吾くんが自分で作品作りをしながら、父の要望に合わせて材料の加工も行う



今回は、岐阜県で内装業を営まれている片桐正裕様と、正裕様の長男である中学1年生の大吾くん親子を取材させていただきました。片桐様は、2020年5月よりデスクトップ型スマートレーザーカッター「Laserbox」をご家庭に導入され、半年以上作品作りや仕事の中で活用されてきました。今回は、製品を導入するに至った背景や活用状況について伺いました。

## 父親の仕事も手伝う 親子でタッグを組んだ Laserbox の活用

- Laserboxをどのように活用されていますか

大吾くん「普段は、Makeblockの公式サイトで公開されているLaserboxの作品例を参考に、データをダウンロードして加工しています。また、YouTubeや本の中で見つけ、興味を持ったものを作成することや、父から依頼されたデータを加工するときもあります。」

正裕様「仕事で使用する材料の加工にLaserboxを使用しています。私はもともとパソコンの操作が苦手なので、デザインのデータは大吾に作ってもらっています。私は隣に座って、サイズや色を指定しながらお願いしています。」

大吾くん「また、父から送られてくるデータはJPGが多いので、ウェブサービスを使用して、それらをSVGやLaserboxのソフトウェアに合わせた拡張子に変換します。デザインデータを作成する際には、基本的にはLaserboxのソフトウェアを使用していますが、CADを使って作成することもあります。」

## Laserboxを導入した背景

### - なぜLaserboxに興味を持ったのでしょうか？

大吾くん「以前からプログラミングに興味があり、Makeblock製のロボット「mBot Ranger」や電子モジュール「Neuron」を使用していました。あるとき、Makeblockのウェブサイトを見ていて、新商品としてLaserboxが掲載されていることを知り、興味を持ったのが始まりです。ちょうどmBot Rangerのカスタマイズが出来たら面白いと思っていたので、好きな部品を自分で作れるLaserboxは魅力的でした。日本でLaserboxが発売される前から、YouTube上で海外の人が使っているレビュー動画を見ていました。その後、他のレーザーカッターと比較していくと、どうしても欲しいと思うようになりました。そして、父を説得してLaserboxの体験会に参加し、実際に木材やアクリルの加工をしました。思っていた通りで使い心地が良いなと思いました。」

正裕様「Laserboxの体験会が東京で実施されるから連れて行って欲しいと言われました。レーザーカッター自体は知っていたので、それで何が出来るかというのも何となくイメージは持っていました。実際に体験会に参加したら、これが仕事にも使えるならいいと思うようになりました。また、大吾の姿を見て、こんなにもLaserboxについて調べているのかと驚きもありました。」

## Laserboxの魅力

### - たくさんレーザーカッターがある中で、最終的にLaserboxの購入を決めた理由は何ですか

大吾くん「まずはカメラで位置合わせをしてくれるのがいいなと思いました。また、公式の素材はマークがついていて自動で認識して設定を調整してくれるのもすごいと思いました。さらに、手書きの絵を認識し、黒で描いたものと赤で描いたものを区別して彫刻と切断を分けてできるのはとても魅力的に感じました。デザインも、他のものは角ばっているものが多い中でLaserboxは丸みがあって好みでした。また細かいところですが、Wi-Fi接続できるのも楽でいいです。完成品でレーザーカッターの組み立てがないのもよかったです。」

## Laserboxと共に自ら学ぶ

### - デザインの着想はどのように得ていますか

大吾くん「本やサイト、動画やSNSなどを使って基本は自分で調べて独学で学んでいます。Makeblockが公開している作品例から、車や三輪車のデータをダウンロードして実際に加工もしました。また、本からは組み木細工のデータを得て、自分でも作ってみました。」



## 今後の展開

### - 今後どんなことに使ってみたいですか

大吾くん「今は作品例をもとに作成することが多いですが、オリジナル作品をもっと作っていけるようにしたいと思っています。さらには、作った作品をサイトで販売するなどもしていきたいです。」

正裕様「これまで同様に仕事をサポートしてもらいつつ、親としては、Laserboxを使って大吾が楽しみながら制作する中で、販売できるような作品を作れたり、ヒットするような作品を作れるようになっていけたらいいなと思います。以前100円ショップで購入した材料と組み合わせてガジェットのアダプターを作成したりしていましたが、それもまた進めてほしいなと思っています。」

